

現代を自在に演ずる
アンサンブル

Ensemble NOMAD

#20

「一つのため息で一卷の小説を(シェーンベルグ)表現するヴェーベルンの作品は未来の音楽への道を開らしただけでなく、遠く中世へまで、それぞれの音楽の持つ美の多彩な謎を私達に教えてくれるものでした。」

佐藤紀雄

●演奏記録(音楽雑誌)

- メロディック
- 現代音楽
- 現代音楽
- 現代音楽
- 現代音楽
- 現代音楽
- 現代音楽
- 現代音楽



profile

1997年、モリスティ佐藤紀雄によって結成された注目アンサンブル。近年の才能ある演奏家が集まり、斬新なアイデアによるプログラムにより、20世紀そして現代作品を演奏。「NOMAD」(流石、まじり)の名称にふさわしく、幅広いレパートリーを得意に引き上げる。メンバーは、総計14人にゲストを交え、編成もフレキシブルに288名を数値に対応する。

1998年4月から2年にわたり開催された10回の定期演奏会は、国内外から高い評価を得る。近藤康雄、黒川康夫のオペラ(リアの晩鐘)、1999年2月新国立劇場ダンスアクトロンNO.2、平利和子作品(ファウスト)をオランダの作曲家M.エダル・アーによる曲で世界初演。東京オペラシティで毎年開催される「コンゴジウム」や、サンクトペテルブルグでのサマーフェスティバルでは、各国から持ち寄られる新進作曲家の最新作の演奏会に出演。世界の「現在」を鮮やかに伝える。2001年は、安部国策文化センター、札幌コンサートホールKITARA、大塚美術館ギャラリーなど各地で演奏。

海外での演奏も活発に行なう。2000年にはオランダ、ベルギーに訪れ演奏。2001年2月東京で開催された(HOLLAND MUSIC DAYS IN TOKYO)「ヨーロッパ8国(オランダ、ドイツ)に出演し、オランダと日本の音楽を演奏。シェーンベルグ没後50年の2001年には定期演奏会で武井の作品を特集。2002年7月には(東京の夏)音楽祭2002、11月、東京で開催の「リコー・プロジェクト2002 in 東京」に出演。2002年度第1回定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わる自然と宇宙に関する空想の住居音楽」は、特に高く評価され、「第1回住居音楽賞」を受賞。CD、記録作品集「鏡子」(acc-47)「鏡の軌跡」(acc-over)、和歌山実作作品集「神楽女社の語り歌を基とした」(acc-60)が発売されている。

東京オペラシティリサイタルホール
電話: 03-5353-0780
新宿区西新宿3-29-2
東京オペラシティ地下1F
京王新線都立駅東口下車3分

アンサンブル・ノマド 定期演奏会スケジュール

Ensemble NOMAD Concert Schedule in 2003 / 2004

- #19 2003年 9月16日[火] [家歌紀行]カタルーガ:弦楽四重奏曲、プロコフィエフ:五重奏曲、サナーチェフ:コンチェルティーノほか
- #20 2003年11月25日[火] [ヴェーベルンに捧ぐ]フェルトマン/ヴィオラ・イン・マイ・ライズ、オサケム/パートウェイスA:独唱0難者のごとく、甲斐謙治:フルートとピアノのための音楽、シューマン/おとぎ話op.132ほか
- #21 2004年 1月21日[水] [劇を聴く、あるいは劇のあるもの]ラッペンマン/アレグロ・ソステナート、ティエルク・ド・メイ:テーブルの音楽、クレメンティ:奏演曲ほか
- #22 2004年 3月16日[火] [ことばの向かうがわ]モリアーホ/ソナタ、ヴィエラ・ロホス:本管五重奏曲、武満 徹:ヴェイズほか

アンサンブル・ノマド定期会員募集中

会員特典

- ① チケット割引 [チケット4回分: ¥12,000 → ¥10,000] <一括郵便振替でお願いします>
- ② 定期演奏会(シーズン/4回)終了後の懇親会への参加